

山梨県テニス協会創立 50 周年に寄せて



公益財団法人日本テニス協会

会 長 畔 柳 信 雄

山梨県テニス協会が 2016 年（平成 28 年）5 月に創立 50 周年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。

また貴協会の長年のご苦勞とご功績に対し厚く御礼申し上げます。

山梨県では戦前から軟式テニスが盛んであったなかで、当時地元の硬式テニス同好者の多大なご尽力により 1966 年（昭和 41 年）に貴協会の創立に至ったとお聞きしております。

貴協会設立後は県内のテニスの強化・普及を着実に続けられ、その成果として特筆されるのは、1986 年（昭和 61 年）「かいじ国体」において、成年男子が優勝、成年女子 3 位、少年男子 5 位、少年女子 3 位となり、天皇杯、皇后杯を獲得し、テニス競技として初めて開催県が総合優勝という快挙を成し遂げられました。

最近でも、昨年 2014 年（平成 26 年）長崎国体で成年女子が初優勝を果たされました。

日本のテニス界も、錦織圭選手が全米オープンで準優勝し、その後もツアー優勝を重ね、世界トップ 4 に入る大活躍により、社会全体の関心度が一気に高まり、錦織選手の活躍は、TENNIS PLAY&STAY を中心とした全国のテニス普及活動にも、かつてない大きな盛り上がりを見せつつあります。

貴協会をはじめとする各県・地域協会と日本テニス協会が今後も手を携え、テニスの普及と強化に一層の努力を行って参りたいと思います。

最後になりましたが、永年にわたり、我がテニス界の発展のために尽くされた山梨県テニス協会の役員各位に心より感謝申し上げますと共に、これからも、日本のみならず世界のテニス界のために、お力添え頂きますようお願いいたしまして私のお祝いの言葉とさせていただきます。